

のびゆく中和っ子

かしこく なかよく 元気よく
～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～
旭市立中和小学校 令和5年12月4日 NO. 13

2学期のまとめ 師走です。

あの猛暑の夏から4か月、秋を飛び越えて冬の声を聴いたような気がします。急な気候の変化に、大人も子供も健康管理が難しいところです。旭市では「インフルエンザ注意報」の発令について繰り返し防災無線で情報を流していますが、お陰様で、中和小では大きな流行には至らず、ぽつりぽつりと感染が報告される程度でここまで来ています。まだまだ、流行は継続するものと考えられますので、手洗い、うがい、消毒、換気と気を付けていきたいと思います。

11月もたくさんの行事や特別な学習が行われました。

1・2年生 お芋ほり



1・2年生は、**お芋の収穫**をしました。春には、畑の土壌改良をしたり、学級花壇にもお芋を植えたりして、たくさんのお芋を収穫することができました。例年通り、家庭へ持ち帰ったり、蒸かして食べたりしたほか、今年は、1・2年合同で「お芋料理」にも挑戦するそうです。今から楽しみです。JA ちばみどりひかた 青年部の皆さんには大変お世話になりました。

くすのき学級、すすがね学級の児童は、今年も「**干潟中学区ふれあい交流会**」に参加しました。ハンドベルの演奏や詩の朗読など、学校で練習した成果をしっかりと発表できました。参加児童一人一人が自信をもって発表する姿は、とても輝いていました。また、干潟中、萬歳小、古城小のお友達とも、楽しく交流することができました。

干潟中学区 ふれあい交流会



旭市社会福祉大会福祉作文表彰



旭市青少年意見発表大会



11月18日には、旭市社会福祉大会が行われました。この中で、児童生徒の**福祉作文表彰**が行われ、6年 宮崎 さんが「優秀賞」を受賞しました。(写真左)

また、11月19日には、**旭市青少年意見発表大会**が行われました。6年 越川 さんが中和小学校代表として、低学年のころから続けてきた英語学習について自分の考えを発表しました。(写真右)





干潟地区パラスポーツ体験会



旭農業高校 出前授業



6年生 茶道教室

自分の命は自分で守る 不審者対応避難訓練・防災紙芝居

11月には児童の命を守る2つの大きな行事がありました。1つは、不審者対応避難訓練です。中和小学校には、正門に扉がありません。不審者が学校に簡単に入ってこられます。「もしも」の時を想定して、教職員はどのように連絡・連携した対応がとれるか、児童の安全を確保できるか。児童は、いざというとき先生の話聞いて素早く動けるか、安全に身を守れるか。学ぶ点はたくさんありました。旭警察署生活安全課の方、地元駐在さんにも協力していただき、この訓練を実施しました。とても緊張感のある訓練ができました。

訓練の最後には、「さすまた」の効果的な使用法を職員が学びました。また、警察に通報した後、駆け付けた警察官をどのように校舎に招き入れるか、どんな情報を伝える必要があるかなど、具体的な指導をいただくことができました。

もう一つは、紙芝居劇団「ふく」による防災紙芝居を見て「津波」に対する防災を学ぶことができました。これまで中和小では「津波」に関わる学習はあまり多く実施できませんでした。今回は、紙芝居を通してそれを学ぶことができました。「赤防災ずきんちゃん」では、津波が来ると分かった時、どう安全に行動することが大切かを学びました。「さとちゃんと稲むらの火」では、昔あった話をもとに、津波発生後、明かりもなく真っ暗な中を逃げる怖さ、お百姓さんにとって大切な稲むらに火をつけ、村人を高台へ避難させ、命を救ったお話を分かりやすく学ぶことができました。紙芝居の間には、クイズや歌を盛り込んでくださり、とてもわかりやすかったです。当日は、千葉科学大学 船倉教授と中国からの留学生もお見えになりました。

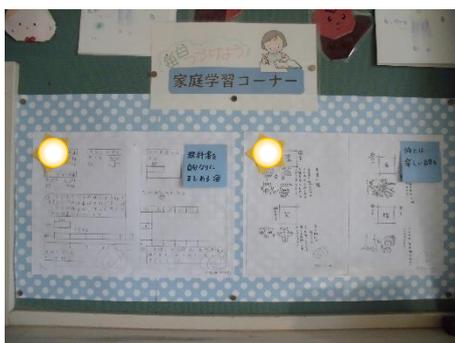
さすまたの使い方の指導



紙芝居劇団「ふく」 防災紙芝居



4年生 旭市防災資料館見学



家庭学習がんばりました

11月の家庭学習強化週間へのご協力ありがとうございました。1～6年まで、学年に応じた取り組みができました。各学級では、頑張った友達のノートを紹介するコーナーを学級に作りました。これを見ると、どう家庭学習を進めたらよいかわかりやすく、児童には励みとなります。これからも、学習の習慣化に向けて継続的に取り組みます。